

第2回
新ごみ処理施設
(熱回収施設)
建設候補地説明会

江南市

広域ごみ処理施設建設対策室

第1章

ごみ処理の広域化



2市2町の広域化の経緯

広域化の背景

ごみ処理に伴うダイオキシン類の排出削減

平成9年1月

国 「ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止などガイドライン」発表

平成9年5月

国 各都道府県に対して、ダイオキシン類排出削減や最終処分場確保対策の問題から「ごみ処理の広域化計画」の策定を通達

平成10年10月

県 「愛知県ごみ焼却処理広域化計画」を策定

※1日あたりの処理能力300トン以上のごみ焼却炉への集約を目指し、13ブロックに区割り



2市2町の広域化の経緯

平成14年11月

尾張北部地域ごみ焼却処理広域化ブロック会議 設立
犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町

平成17年11月

尾張北部地域ごみ焼却処理広域化ブロック会議
犬山市善師野を検討してきたが断念

県の広域化計画を受け協議をするが、当面は第1小ブロックと第2小ブロックの2つのブロックで協議を進める

第1小ブロック
(江南市・犬山市・大口町・扶桑町)

第2小ブロック
(小牧市・岩倉市)

平成18年11月

第1小ブロック会議（犬山市、江南市、大口町、扶桑町）設立

第1小ブロックと第2小ブロックの構成市町





広域化の効果

◆ダイオキシン類等の削減

◆公共事業のコスト縮減

◆熱回収の推進

◆リサイクルの推進

◆最終処分場の確保

第2章

地元説明会の開催

地元説明会（役員会）開催の経緯

- 建設候補地の地元での説明会の開催を、区の役員の皆様
にお願いするため、それぞれの区会等へ説明

- 平成25年4月21日（日） 中般若区
- 平成25年4月28日（日） 般若区
- 平成25年5月11日（土） 草井区
- 平成25年5月21日（火） 山名3郷
（打合せ）
- 平成25年6月 2日（日） 小淵区
- 平成25年6月 8日（土） 山那区
- 平成25年6月15日（土） 南山名区



▲中般若区の役員を対象にした説明会の様子

第1回地元説明会の開催状況

- 市では、建設候補地の地元説明会を次のとおり開催

※対象世帯数は広報配布世帯数

開催日	開催地区	参加人数 / 対象世帯数
平成25年5月19日(日)	中般若区	63人/129世帯
平成25年5月25日(土)	般若区	67人/440世帯
平成25年6月1日(土)	草井区	102人/698世帯



第3章

地元説明会での質問や意見 に対する市の考え方・方針

質問1 市内5候補地の各評価の具体的な判断根拠を示して欲しい。

候補地	基本要素		重要要素			参考要素				
	①敷地面積の確保	②アクセスのしやすさ	③用地確保のしやすさ	④近くの住居の少なさ	⑤運搬経費の安さ	⑥学校等施設の有無	⑦搬入道路の集落通過	⑧行政計画とのつりあい	⑨土地造成のしやすさ	⑩土地利用の現況
中般若町北浦	○	○	△	○	○	×	○	○	△	○
宮田町河沼	○	△	△	×	△	○	○	○	○	○
五明町福森	○	○	△	×	△	○	○	○	○	×
曾本町二子前	○	△	△	×	△	×	○	○	○	×
小折町八反畑	○	△	△	△	△	×	○	△	○	×

回答1-1【基本要素】

①敷地面積の確保②アクセスのしやすさ

候補地	①敷地面積の確保		②アクセスのしやすさ	
	評価	判断根拠	評価	判断根拠
中般若町 北浦	○	7.2ha	○	県道浅井犬山線に 接続している
宮田町 河沼	○	4.1ha	△	県道浅井犬山線に 近接している（64m）
五明町 福森	○	5.8ha	○	国道155号線に 接続している
曾本町 二子前	○	9.6ha	△	県道西之島江南線に 近接している（217m）
小折町 八反畑	○	7.6ha	△	国道155号線に 近接している（65m）

回答1-2 【重要要素】 ③用地確保のしやすさ
④近くの住居の少なさ ⑤運搬経費の安さ

候補地	③用地確保のしやすさ		④近くの住居の少なさ		⑤運搬経費の安さ	
	評価	判断根拠	評価	判断根拠	評価	判断根拠
中般若町 北浦	△	地権者 94名	○	500m以内 178戸	○	運搬経費(年額) 107,237千円
宮田町 河沼	△	地権者 81名	×	500m以内 589戸	△	運搬経費(年額) 139,103千円
五明町 福森	△	地権者 73名	×	500m以内 683戸	△	運搬経費(年額) 137,110千円
曾本町 二子前	△	地権者 77名	×	500m以内 531戸	△	運搬経費(年額) 147,186千円
小折町 八反畑	△	地権者 70名	△	500m以内 279戸	△	運搬経費(年額) 130,167千円

回答1-3【参考要素】⑥学校等施設の有無⑦搬入道路の集落通過⑧行政計画とのつりあい

候補地	⑥学校等施設の有無		⑦搬入道路の集落通過		⑧行政計画とのつりあい	
	評価	判断根拠	評価	判断根拠	評価	判断根拠
中般若町 北浦	×	江南緑地公園(中般若)、 学習等供用施設(中般若会館)、 木曾川扶桑緑地公園	○	なし	○	整合する
宮田町 河沼	○	該当施設なし	○	なし	○	整合する
五明町 福森	○	該当施設なし	○	なし	○	整合する
曾本町 二子前	×	学習等供用施設 (曾本会館)	○	なし	○	整合する
小折町 八反畑	×	ジョイフル布袋、 布袋東保育園、 布袋南部地区学習等供用施設	○	なし	△	土地利用計画で 工業地に指定

回答1-4 【参考要素】

⑨土地造成のしやすさ ⑩土地利用の現況

候補地	⑨土地造成のしやすさ		⑩土地利用の現況	
	評価	判断根拠	評価	判断根拠
中般若町 北浦	△	主に山林(現況)、 その他畑等	○	一部畑として利用されているが ほとんど未利用
宮田町 河沼	○	主に田、 その他畑等	○	一部田・畑として利用されているが ほとんど未利用
五明町 福森	○	主に畑、 その他田等	×	ほとんど田、畑として利用
曾本町 二子前	○	主に田、 その他畑等	×	田、畑として利用
小折町 八反畑	○	主に畑、 その他田等	×	田、畑として利用

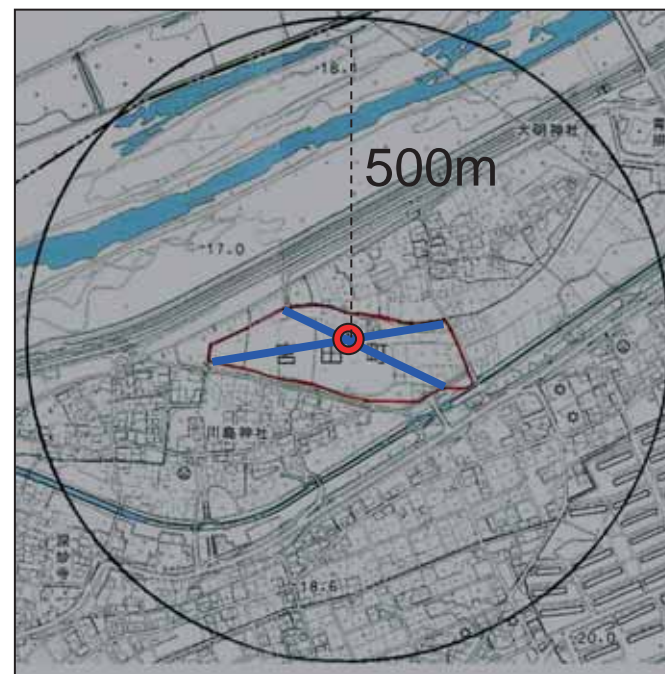
質問2 市内5候補地の住居の少なさを判断した具体的な起点はどこか。

回答2-1 中般若町北浦・宮田町河沼

○ 起点: 対角線(———)が交差する地点



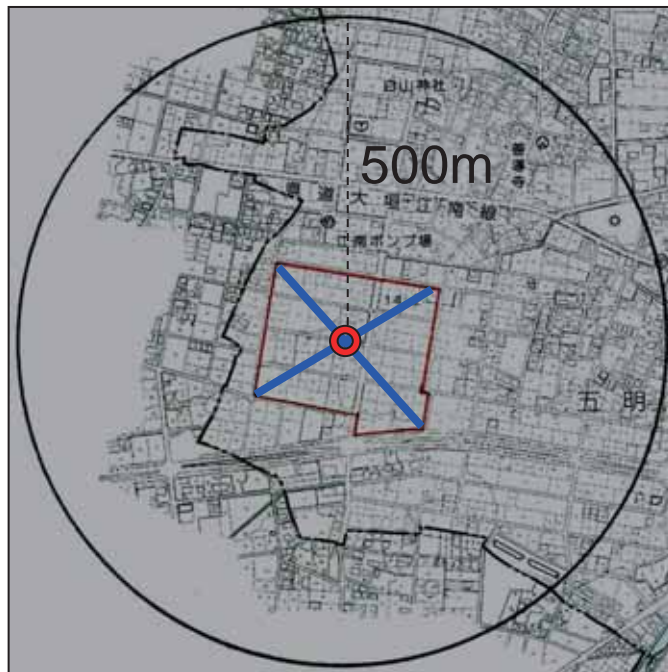
中般若町北浦



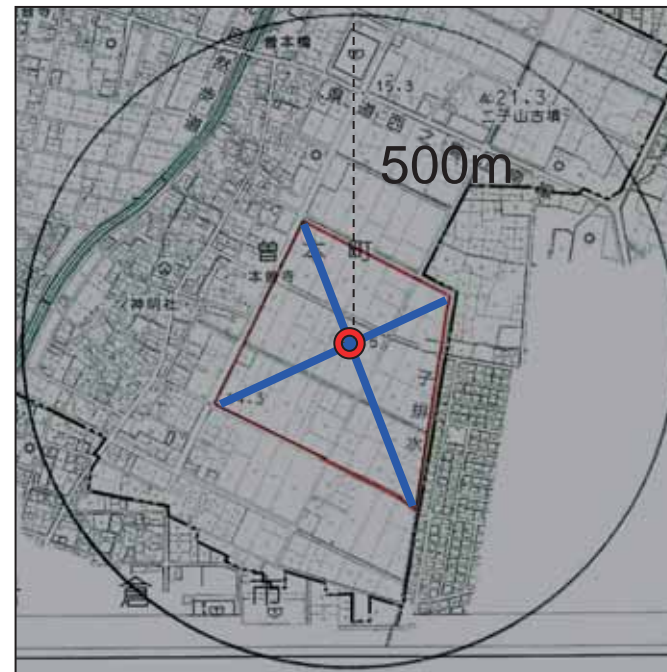
宮田町河沼

回答2-2 五明町福森・曾本町二子前

- 起点: 対角線()が交差する地点



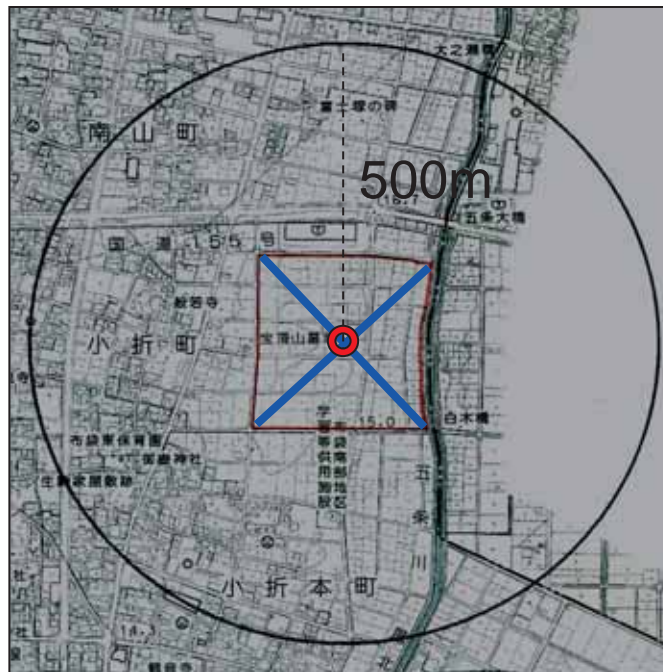
五明町福森



曾本町二子前

回答2-3 小折町八反畑

- 起点: 対角線()が交差する地点



小折町八反畑

質問3 候補地選定作業はいつからどのような体制で始められたのか。

回答3-1

平成24年10月2日

第1小ブロック会議で江南市長が受入表明

平成24年10月4日

調整会議でプロジェクトチームの体制及び今後の進め方などを協議

その後

約2か月間に亘り23回の会議を開催し、候補地の洗い出しを行い、土地の形状・地権者・規制などを調査し、選定・評価を実施

●プロジェクトチーム（副市長以下8名）

副市長、生活産業部長、環境課長、環境課主幹、

第1小ブロック会議準備室派遣職員、行政経営課長、税務課土地担当職員、

まちづくり課嘱託職員

回答3-2

プロジェクトチームの協議内容

協議内容

- ・ 他自治体の候補地選定方法の調査
- ・ 現在の候補地の地権者、土地の状況の確認
- ・ 江南市戦略計画、江南市都市計画マスタープランなどとの
つりあいを確認

評価に重み付けを取り入れている自治体

東京都町田市、長野県伊那市、佐久市、奈良県奈良市、
兵庫県南但広域行政組合

質問4 行政内部のみで候補地を決定するべきではなく市民を交えて検討すべきではないか。

回答4-1

平成24年10月2日

第1小ブロック会議で江南市長が受入表明

平成24年10月4日

調整会議でプロジェクトチームの体制及び今後の進め方などを協議
会議を23回開催、候補地洗い出し、土地形状・地権者・規制などを調査、選定・評価

平成24年12月6日

市幹部会議で江南市の候補地を選考

平成24年12月17日 市議会（全員協議会）

江南市候補地として中般若町北浦を選定したことを協議し了承

平成24年12月26日 第1小ブロック会議

江南市候補地として中般若町北浦を報告

回答4-2

江南市の候補地決定の手法

その
1

- ◆江南市が候補地の引き受けを提案
- ◆他の1市2町が候補地を早く明らかにすることを要求



●行政が選定作業を行い、議会（全員協議会）の了承を得る手法を選択

その
2

- ◆中般若町を選んだ平成20年当時と比べ、社会環境は現在も大きく変わっていない



●市内の候補地について再度洗い出しと評価・選定作業を行い、議会と協議をしたうえで報告

質問5 広域ごみ処理施設を建設する計画があるのは分かったが、環境への影響について心配はないか。

回答5-1

◆環境アセスメントを実施（義務）し、できる限り環境影響の低減を図ります

※環境アセスメント（環境影響評価）とは、開発事業の内容を決定する際に、環境にどのような影響があるかをあらかじめ調査・予測・評価し、その結果を公表し、一般の方々、地方公共団体などから意見を聴き、それらを踏まえ環境保全の観点からよりよい事業計画を作成するための制度

回答5-2

【主な評価項目】

- 環境法令（大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法）の基準値を超えないか
- 施設や運搬車両による騒音・振動などの影響はないか
- 建設予定地に貴重な動植物の生息・生育はないか

◆実施の際、公告・縦覧を行い、住民の皆様の意見をとり入れます

◆調査結果は住民の皆様に公表します

質問6 ごみ処理施設（焼却施設）の排ガス
に対する規制はどのようなになっているのか。

回答6-1

◆大気汚染の原因となる、ばい煙を発生・排出する施設
は大気汚染防止法などにより規制を受ける

●排出基準は以下のとおり

項目	排出基準
ばいじん	0.04 g / m ³ N
硫黄酸化物 (S _{ox})	K値=9.0以下
窒素酸化物 (NO _x)	250ppm
塩化水素 (HCL)	700mg / m ³ N (430ppm)
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ / m ³ N

回答6-2

【排出基準の補足】

◆K値

地域ごとに定められた定数。硫黄酸化物の排出量はK値と施設の煙突の高さ、煙の温度、排出される煙の速度などから計算

◆1ng (ナノグラム)

1/10億g。東京ドーム（容量124万 m^3 ）にアリ（0.002g）が1匹入っている状態

◆ m^3N (ノルマル立方メートル)

標準状態（0℃1気圧）に換算した1 m^3 の気体量

◆ppm

濃度を表す単位。百万分の1が1ppm。大気の場合は1 m^3 中1 cm^3 のガス容量を表す

◆TEQ (Toxic Equivalentの略。毒性等量)

ダイオキシン類の量や濃度のデータに使用する毒性の強さを加味した値であることを示す

質問7 煙突の高さはどれくらいか。

回答7

◆焼却施設の機種や処理能力は決まっておらず、煙突の高さは未定

●排ガス処理設備で有害物質をしっかりと除去

●煙突から出る煙は主に水蒸気

●中般若町北浦地内の場合は、岐阜基地があり56m程度まで

※一般的には60m未満が多い

【参考】近隣施設の煙突の高さ



岐阜羽島衛生施設組合
50m



名古屋市五条川工場
59.9m



一宮市環境センター
59m



春日井市クリーンセンター
第2工場 59m

※航空法により、高さ60m以上の工作物は、赤白の縞模様の昼間障害標識塗装や航空障害灯の設置が義務付け

質問8 環境データの表示については、具体的にどんな項目を表示するのか。

回答8

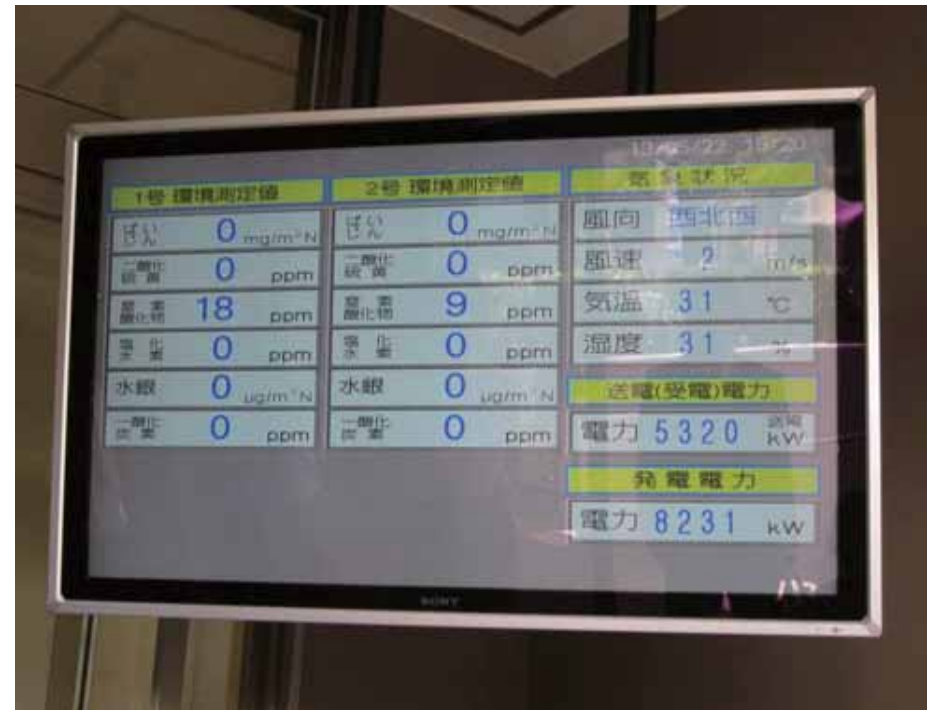
◆国や愛知県が排出基準値を設けている項目を表示

- ・ばいじん
- ・硫黄酸化物
- ・塩化水素
- ・窒素酸化物
- ・ダイオキシン類



江南丹羽環境管理組合
環境美化センター

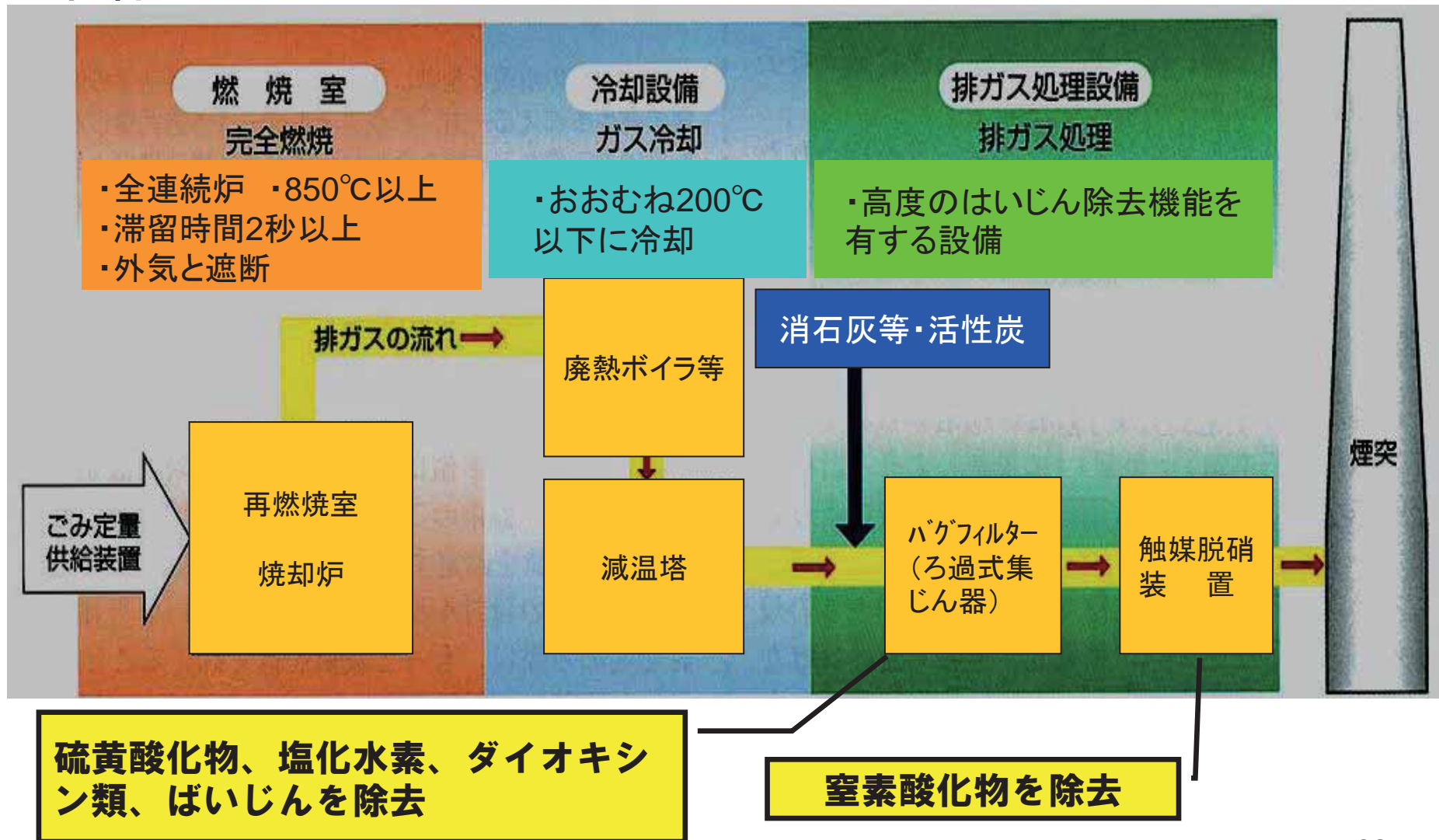
※ばいじんの単位はmg/m³N



名古屋市鳴海工場

質問9 排ガス対策について図などで説明してほしい。

回答9



質問10 ダイオキシン類は人に対してどんな影響があるのか。

回答10

◆ダイオキシン類は主に食事によって取り込まれています

●しかし、日常の生活の中で取り込まれるダイオキシン類の量は人体への影響はありません

◆ダイオキシン類の安全基準

1日体重1kgあたり4pg-TEQ

※pg（ピコグラム）：1兆分の1グラム

◆国は「**耐容一日摂取量**」という指標を定めている

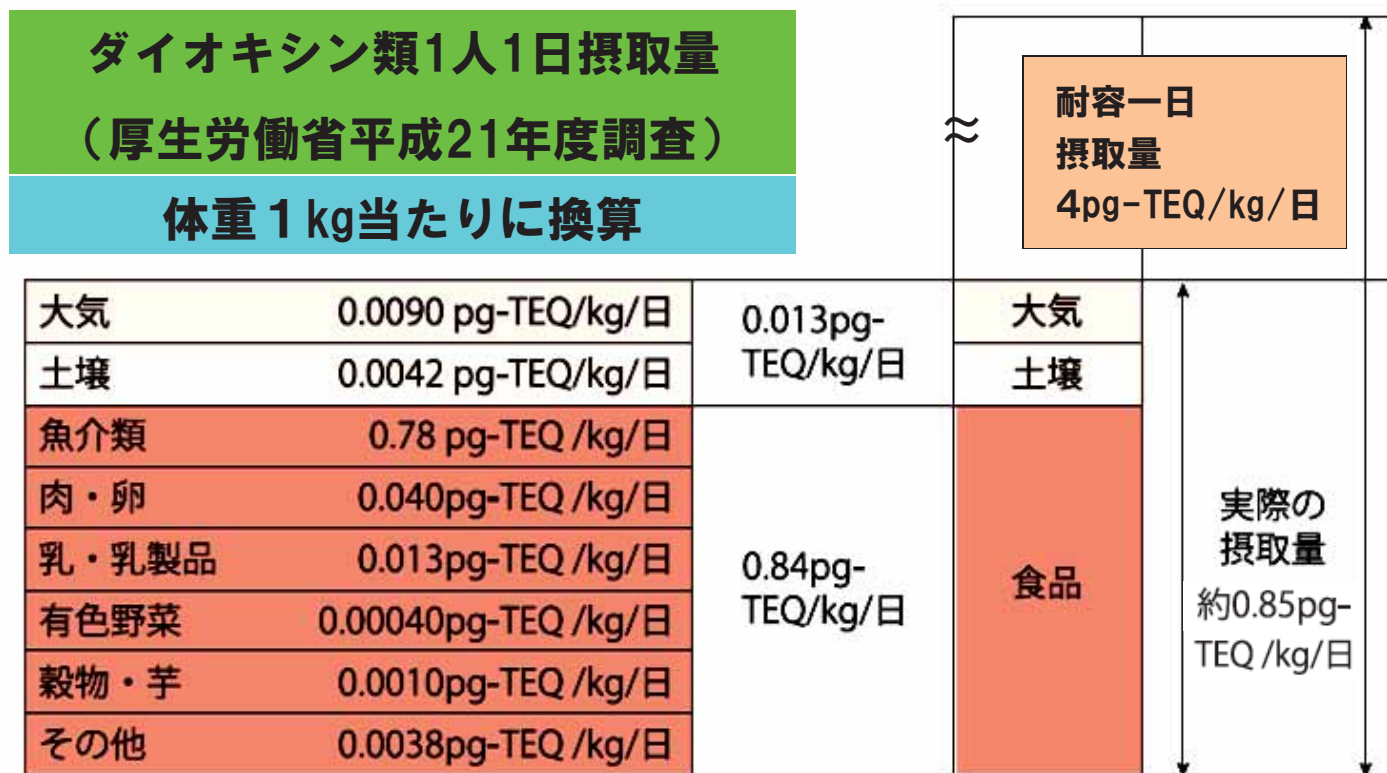
◆**耐容一日摂取量**

人がダイオキシン類を毎日体内に取り込み続けても健康に害を及ぼさないとする1日体重1kgあたりの摂取量

質問11 生活の中でダイオキシン類をどれくらい取り込んでいるのか。

回答11

◆食事や呼吸等を通じて、毎日平均して体重1kgあたり約0.85pg-TEQのダイオキシン類を取り込んでいます



出典：関係省庁共通パンフレット「ダイオキシン類2012」

質問12 焼却施設からどれだけダイオキシン類が排出されているのか。

回答12

◆国のダイオキシン類の排出基準値

●江南丹羽環境管理組合

5ng-TEQ/ m^3N （自主規制値1ng-TEQ/ m^3N ）

●新ごみ処理施設 0.1ng-TEQ/ m^3N

※新施設の自主規制値は環境アセスメント、最新の排ガス設備を考慮し、地元の皆さんと話し合いで決定

◆江南丹羽環境管理組合の平成24年度実績

0.07ng-TEQ/ m^3N

●国の排出基準値や江南丹羽環境管理組合の自主規制値よりも厳しい規制値を設け、厳しく監視

質問13 重金属の水銀は、測定義務がなく、非常に心配である。

回答13

- ◆排ガスを対象とした重金属の排出について法的規制はない
- ◆家庭向け製品への水銀の使用削減の効果は著しく、分別収集の徹底により、排ガス中の水銀などの濃度は極めて低いレベル
- 重金属類は、排ガス処理過程でバグフィルターで吸着し、活性炭噴霧により適切に除去**

【参考】江南丹羽環境管理組合の排ガス中の水銀測定結果と欧米の規制値
(mg/m³N)

物 質	江南丹羽環境管理組合 環境美化センター測定	米国 基準	欧州 基準
水 銀	0.001(H24実績)	0.08	0.05

※重金属とは一般的に鉄以上の比重（7.0以上）を持つ金、白金、銀、水銀、クロム、鉛、鉄などのこと

質問14 今でも交通渋滞が多いのに、さらにパッカー車が走ったらどうなるか心配。

回答14

◆2市2町のパッカー車の台数

1日平均 延べ94台（平成24年度実績）

◆受入時間は午前8時30分から午後4時30分までの8時間（1時間休憩）

単純に8時間で割ると1時間当たり12台

◆交通に与える影響はほとんどありません

●渋滞が発生しないよう、十分な車両待機場所を確保

●安全面に配慮し、搬入路選定には十分注意

●委託業者や許可業者を含め、パッカー車の買い替えに当たっては、低公害車の導入を積極的に検討

質問15 ごみ収集車が汚水をこぼさないか。

回答15

- ◆ごみ収集車は汚水がこぼれないよう対策が講じられている
- ◆車両整備と車両清掃の徹底を指導

●万が一、ごみ収集車が汚水をこぼすことがあれば、速やかに道路清掃を行います



質問16 建設候補地の選定にあたり、どうして敷地面積3ha必要なのか。

回答16

◆第1小ブロック会議が各市町から候補地を出す際は必要面積を3ha程度とした

◆工場棟の他、計量棟、管理棟、駐車場、緑地帯等が必要なため、ある程度の広さを確保

◆適切な面積を確保することで様々なレイアウトが可能

◆中般若町北浦は土地改良が未実施で土地形状が整形地でないため、4ha程度が必要

◆緑あふれる景観配慮ができ安全・安心を確保



質問17 安全だというならば市街地に建設すればよいのではないか。

回答17

◆安全である限りどこへ建設してもよいが、住宅密集地に建設すると次のような影響が予想される

- 1 施設建設のためのまとまった用地確保が困難
- 2 地価が高いため用地費が多額になり、住民のごみ処理経費負担が増大
- 3 道路の混雑などで運搬効率が悪化
- 4 交通安全等のため道路拡幅をしようとしても、既に住宅が建っている等の理由で用地確保が困難

●選択の余地があれば一般的には住宅密集地でないところが好ましいとされている

●最小の経費で最大の効果を実現できるようめざします

質問18 中般若町北浦の候補地についてきちんと現況を確認したのか。

回答18

◆候補地内には住宅、墓地、焼却炉、作業場などがあります



住宅



墓地



焼却炉



作業場



畑

質問19 地元同意とは何をさすのか。
賛成が何%とか具体的な値はあるか。

回答19

◆ごみ処理施設の建設にあたって

- 地元同意の定義はありません
- 何%以上の賛成が必要という決まりはありません
- 第1小ブロック会議で現在のところ検討されていません

●お地元の多くの皆さんにご了承が得られたと判断した段階で、第1小ブロック会議に諮り、協議します

質問20 何が混入するか分からないのがゴミ。
100%安全とは言い切れないのでは？
どんなリスクがあるのか。

回答20

- ◆焼却物の中にガスボンベなどが混入し火災となり、発生する事故がある
- ◆人為的なミスや油断から生じる事故がある

【事例】※施設外部へ影響なし

平成24年6月 江南丹羽環境管理組合環境美化センターで、また平成25年4月 小牧岩倉衛生組合環境センターで、粗大ごみ処理施設において分別されずに紛れ込んだカセットコンロ用ガスボンベから漏れたガスに引火し火災が発生

- 安全対策は十分配慮し、万が一、事故が発生した時に周辺に影響が無いよう、焼却施設はしっかりと壊れにくく造られた建物内に納め、周辺には緑地帯を設け安全対策を徹底
- 万が一、事故が発生した場合は、速やかに皆様に報告

**質問21 万が一、事故が起きた時に、
誰が責任を取るのか。**

回答21

◆最近のごみ処理施設で、周辺住民の方に健康被害などが出たという事例はない

◆30年前に建設した江南丹羽環境管理組合の焼却場は、今なお安全に運転し続けている

●2市2町の広域事業であるため、ごみ処理施設の操業に起因する事故が万が一起きた時は、2市2町で構成する一部事務組合が責任を取ることになる

●お地元を抱える江南市として誠心誠意を持って対応

質問22 ごみ処理施設の排水により、周辺の飲料水源への影響は心配ないか。

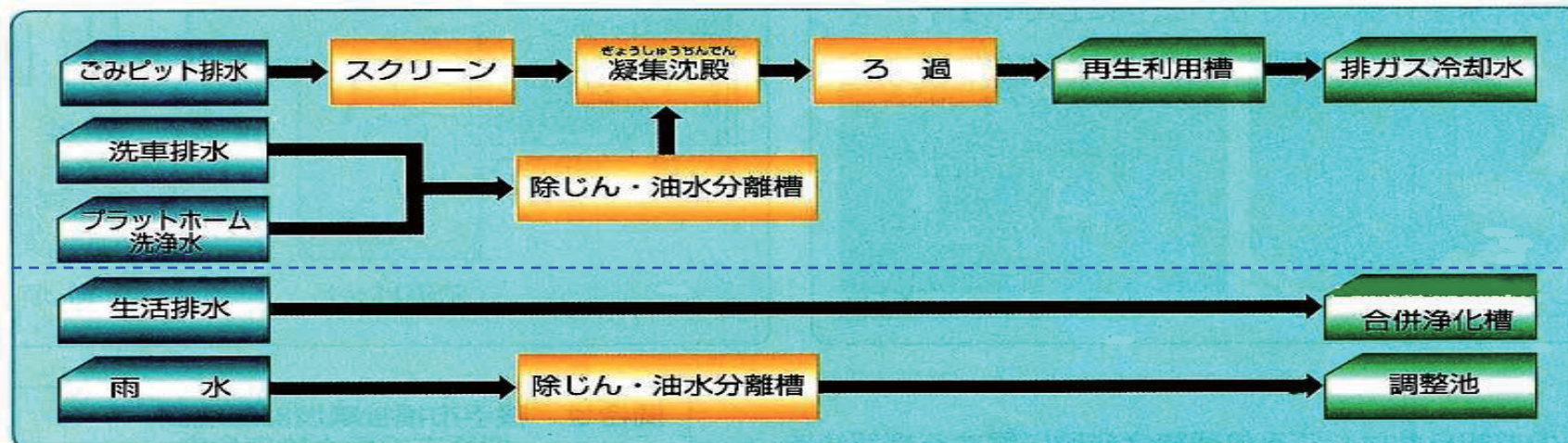
回答22

◆クローズドシステムを採用

※クローズドシステムとは、ごみ処理の過程でプラントから出る排水を施設内で再利用することにより、施設の外部に出さないシステムのこと

●施設からの排水が水源に影響を与えることはありません

主な排水処理の流れ



クローズドシステム

※ごみピット：持ち込まれたごみを貯めておく場所

※プラットホーム：ごみ投入口のある場所

※スクリーン：固形の異物などを取り除く装置

※凝集沈殿：薬剤を投入して重金属等を沈ませて取り除く工程

質問23 想定外の地震などにより施設が壊れてしまうことはないか。

回答23

- ◆廃棄物処理施設は通常の耐震基準以上の強度で建設します
- ◆地震発生時は、焼却炉は安全に停止します
- ◆東日本大震災では揺れにより大きな被害を受けた例はありません

- ◆ごみ焼却施設を防災拠点と位置づける動きが出てきている
- ◆震災のあった釜石市では被災者が余熱で沸かした風呂を利用するなど、ごみ焼却以外にもライフラインの拠点としての役割を担う



岩手沿岸南部クリーンセンター

※ライフラインとは都市生活の維持に必要不可欠な、電気・ガス・水道・通信・輸送などのこと

- 災害時も焼却施設の機能を十分果たすと共に防災拠点の役割が果たせるよう検討します

質問24 できる限り燃やす量を減らして
できるだけ環境を汚さないでほしい。

回答24

- ◆新ごみ処理施設の処理能力は、計画上236t/日としているが、それは考えられる最大規模のもの
- ◆県の平成23年度調査では、江南市は10万人以上の部で、1人1日当たりのごみの量、リサイクル率とも県下1位
- ◆構成市町である犬山市、大口町及び扶桑町も県の平均より良い結果
- ◆今後もごみの減量、資源化を積極的に推進
- 住民参加による施設整備検討委員会を設置し、ごみの減量、資源化対策などを検討し、絞り込みます
- 最近のごみ処理施設はダイオキシン類の分解施設、熱回収施設と言われ、決して環境を汚すような施設ではありません



□その他の意見

- ◆地元の同意については、説明会を繰り返す中で、大体、理解が得られたと判断していただくということで良い
- ◆他に持っていきたいというのは当たり前前の気持ちであるが、なんでも他へもって行けといった考えでは進まない
- ◆江南市の中で中般若町北浦地内になったということとは理解できる
- ◆江南市民としての責任を果たしていく必要がある

□その他の意見

- ◆私たちが現在のような恵まれた生活環境を維持していくためには、ごみ処理施設は必要不可欠である
- ◆大口町にある焼却施設も限界に達しており、早急に新施設を造らなければならない
- ◆中般若地区が江南市の中で一番良い場所である
- ◆なるべく今の樹木を残しながら、緑があふれる森林の中の施設のようにすれば、住民の協力が得られるのではないか



第4章

地域振興策の考え方

地域振興策

◆地域振興策は地元要望を調整した上、第1小ブロック会議で決定

●地域振興策の着眼点

- 1 地域活性化に向けた取り組み
- 2 先進的な環境創造の取り組み
- 3 快適な住環境の整備
- 4 地元経済の振興
- 5 安心・安全な地域づくり

【他自治体の事例】

1 地域活性化に向けた取組

◆コミュニティ活動の場整備

コミュニティセンター・交流広場等を整備



江南市学習等供用施設小協会館



名古屋市五条川工場（五条広域事務組合）

コミュニティプラザ萱津（かやづ）

（研修室、調理実習室、和室、音楽室、児童室）

◆施設運営モニター活動への助成

公害防止委員会、機関誌への協力等モニター活動への助成

【他自治体の事例】

2 先進的な環境創造の取組

◆多様な生きもの生息環境の保全

ビオトープづくり、生きものとふれあう体験学習の場整備



田原リサイクルセンター炭生館ビオトープ



可茂衛生施設利用組合ささゆりクリーンパーク
遊林（ゆーりー）の森

◆環境教育、学習拠点施設

施設内にリサイクル・省エネルギー・
地球温暖化などの学習コーナーの設置



可茂衛生施設利用組合ささゆりクリーンパーク
わくわく体験館

【他自治体の事例】

3 快適な住環境の整備

◆熱利用施設の整備

健康増進施設・浴場など熱利用のできる施設の整備



豊橋市資源化センター
りすば豊橋



名古屋市五条川工場（五条広域事務組合）
コミュニティプラザ萱津（かやづ）

【他自治体の事例】

4 地元経済の振興

◆ 地区団体等への業務委託

施設内の植栽管理・清掃業務等の地区団体等への委託による雇用の創出

◆ 農業生産基盤の整備

地区の状況に応じた余熱利用施設整備

● 隣接する温室団地へ加温用蒸気を供給



豊橋市資源化センターと隣接する温室団地(農事組合法人豊栄施設園芸組合)

【他自治体の事例】

5 安心・安全な地域づくり

◆防犯灯整備

地区の防犯灯の整備

◆防犯安全カメラの設置

地区の防犯・交通事故防止のためのカメラ設置

◆交通安全設備の整備

地区の道路の状況に応じた整備（歩道整備・防護柵設置等）



江南丹羽環境管理組合
交差点改良（信号機設置）



第5章

施設見学会の開催

施設見学会の概要

- ◆ごみ処理施設の安全性や運転状況、最新の公害防止技術などを確認し、新ごみ処理施設建設への理解を深めていただく
- ◆開催日
7月8日(月)、10日(水)、17日(水)、22日(月)
- ◆市の福祉バスを使用
1回の参加者は40名程度(参加者多数の場合は抽選)
- ◆中般若区、般若区、草井区の3区合同で開催
(扶桑町の山名3郷にも実施)
- ◆見学施設
 - ・名古屋市五条川工場(平成16年供用開始)
 - ・名古屋市鳴海工場(平成21年供用開始)
- 両工場ともごみ処理による近隣住民の皆さんからの苦情は全くありません

名古屋市鳴海工場

◆施設の特徴

- ・政令指定都市で初めて、施設の設計と建設から維持管理運営までを一体で民間事業者に委ねるPFI方式を導入

※ PFI (Private Finance Initiative : プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法

- ・長期間の安定稼働実績を持つシャフト炉式ガス化溶融炉を導入

◆施設の概要

場 所	緑区鳴海町字天白90番地
敷地面積	約30,000㎡
建設費	約202億円
炉形式	シャフト炉式ガス化溶融炉
処理能力	530 t / 日 (265 t / 日 × 2炉)
発電設備	蒸気タービン発電 9,000kw
煙突	地上高 80.0m
余熱利用	緑環境事業所への温水の供給



名古屋市鳴海工場案内図

緑区、天白区、瑞穂区、南区の可燃ごみを処理



名古屋市五条川工場

◆施設の特徴

- ・名古屋市の可燃ごみに加え、周辺市町（清須市、あま市、北名古屋市及び豊山町）の可燃ごみを焼却
- ・五条川の河川敷に柱を立て、その上に人工地盤（床）を造り、工場を建設
- ・人工地盤の下は洪水防止のための調節池として機能
- ・従来埋立を行っていた焼却灰を資源として活用することで、埋立量の低減やダイオキシン類対策に配慮し、名古屋市で初めて灰溶融炉を導入

◆施設の概要

場 所	愛知県あま市中萱津奥野（五条川右岸河川敷）
敷地面積	約38,000㎡（人工地盤面積約26,000㎡）
建設費	約385億円
炉形式	全連続燃焼式焼却炉（ストーカ炉）
処理能力	560 t / 日（280 t / 日×2炉）
灰溶融炉	黒鉛電極式プラズマアーク炉
溶融能力	70 t / 日（35 t / 日×2炉）
発電設備	蒸気タービン発電 14,500kw
煙突	地上高 59.9m（池底から）
余熱利用	福祉厚生施設への温水の供給、工場内給湯・冷暖房



名古屋市五条川工場案内図



北区、西区、中村区、北名古屋市、清須市、あま市、豊山町の可燃ごみ処理



広域ごみ処理施設建設対策に関する問合せ

江南市役所 生活産業部
広域ごみ処理施設建設対策室

※循環型社会形成推進のため広域的かつ総合的に廃棄物を
処理し、リサイクル施設の整備を推進します

電 話 0587-54-1111 内線443、444

F A X 0587-56-5516

Eメール gomikensetsu@city.konan.lg.jp